



くことができ、論文について少しずつ理解できてきているように感じます。こうした内容を継続しつつ、一方で少し演習が入った内容も入れていただけると、さらにどう書いていくのか理解できるかなと感じました。今後ともこの方向での研修を続けていただくとありがたいです。」「今回のように具体的に論文をとりあげ（予習ができる）、それを検討するという流れでやってほしい。」「今回の続編として、別の論文を取り上げたり、特定のポイントに焦点を置いて掘り下げるような研修を、浦上先生にぜひお願いしたいです。このような質の高い研修を受けられるだけで、キャリア教育学会に入会している意義があります。もし外部でこれだけの水準の研修を見つけることは難しいと思います。」「研究の『方法』について、尺度や分析方法の取捨選択など詳しく学びたいと思いました。」「前回、今回とどちらもとても濃い内容で、本当に稀有な機会を作っていただいていると思います。今回の会の最後に少し話に出た、今出ている論文から次にやるべき、やられるべき研究を考えるセッション（事前に題材を与え、参加者が読んで参加）をしてくださったら、ぜひ聞いてみたいと思いました。」といったリクエストをいただき、今後の研究推進委員会企画講演会を検討する上で、多くの示唆をいただきました。

皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

研究推進委員会委員長 山田智之